



▲平成26年8月、市内各地で豪雨による浸水や土砂崩れが発生し、死者も出ました。(写真は関戸の土砂崩れ被害)

# その時・あなたは、 皆は大丈夫？

## 「もしも」に備える 行動は今

### 災害に 備える

昨今、全国で大規模な災害が発生しています。「災害への備え」の重要性は分かっていますが、準備できていないという人も多いのではないのでしょうか。災害はいつ起こるか分かりません。日頃から「もしも」を想定して、災害に備えましょう。

関危機管理課 ☎ 5 1 1 9

### 防災対策・これだけは！

#### 枕元に用意して安心

就寝時に災害が起きた場合、必要なものを取りに行くのが難しい事があります。手に取りやすい枕元に、最低限次のものを用意して命を守りましょう。

#### ①懐中電灯 … 安全確保に

周りが見えないまま歩き、割れたガラスなどを踏んでけがをすることがあります。まず明かりで周囲を確認しましょう。



スリッパ(靴)も一緒に用意すると安心です。

#### ②携帯ラジオ … 事態を把握

何が起こったかをすぐに把握するため、情報を得る手段を準備しましょう。



○いざという時に電池切れ・電池の老朽化で使えないといった事態を防ぐため、手動で充電できるタイプがおすすめです

○袋に入れて布団やベッドにくくりつけておくと、地震など大きな揺れで飛ばされません

### 「知る」ことは「助かる」

#### ことにつながります

テレビ・ラジオのほか、事前に防災情報を得る手段を確認しておきましょう。

#### ●登録しよう！防災メール

緊急情報（避難所の開設、避難勧告）や気象情報（警報、台風情報）などを受け取れます。

#### ①パソコンから登録

<http://www.fastalarm.jp/iwakuni/tdocs>

#### ②携帯電話から登録

[entry-iwakuri@fastalarm.jp](mailto:entry-iwakuri@fastalarm.jp)

に空メールを送信



携帯登録  
QRコード

#### ●防災無線

避難勧告の情報や、災害・火災情報を発信しています。

○よく聞き取れなかったときは

電話で防災無線の放送内容が聞けます（内容は24時間保存されます）。

#### 防災無線応答機能 ☎ 29 1111

電話を掛け、ガイダンスに従って、

聞きたい地域の番号を選択

#### ●山口県土木防災情報システム

県内の危険箇所が確認できるほか、雨量・水位・ダムなどの防災情報、気象状況を踏まえた地域の危険度などをインターネット上でリアルタイムに配信しています。

## いざという時の

### 家族の連絡手段を

●「引き返して」被害に遭わないために  
東日本大震災や、熊本地震の際には、一度避難した後に「引き返して」被害に遭った人が多くいました。その中に

は「家族が逃げ遅れていないか心配で見に行った」という人もいます。

いざという時の連絡手段や、避難の仕方を事前に家族で話し合っておくことで、このような被害に遭う可能性を低くすることができます。

## 「災害用伝言サービス」電話が繋がらない、そんな時のために

災害時は電話が殺到して回線が混雑し、つながりにくくなることがあります。通信各社ではスムーズな連絡を行えるよう、災害時に次のような「災害用伝言サービス」を提供しています。

### ①災害用伝言ダイヤル 171

電話番号宛に音声で伝言の登録・確認ができます。「171」とダイヤルし、ガイダンスに従って操作します。

### ②災害用伝言板 (web171)

スマートフォンやパソコンから電話番号を入力して、事前に文字で伝言の登録・確認ができます。

### ③災害用音声お届けサービス

スマートフォンなどで録音した伝言をパケット通信で送信できます。携帯各社が提供する災害時アプリから利用できます。

※サービスの詳細については、運営各社 (①②= NTT東西、③④= 携帯電話各社) に確認してください

### ④災害用伝言板

携帯電話などから「無事です」「避難所にいます」などの安否情報と文字による伝言の登録・確認ができます。

「災害用伝言サービス」の体験利用ができます



#### 利用日

- 毎月1日、15日
- 1月1日～3日
- 1月15日～21日(防災とボランティア週間)
- 8月30日～9月5日(防災週間)

## ■インタビュー

### 地域の特性を知りましょう

災害が起きた時、まずは自分が助かることが第一です。安全を確保し、最低限命を守る行動を取りましょう。自分の命があってこそ、他の人の命を守ることができます。

そのためにも、普段から自分の住んでいる地域がどういった災害に遭いやすいかを調べて知っておくことが大切です。それぞれの災害に合った対策を取り「もしも」の事態に備えましょう。

危機管理課  
危機管理専門員  
吉山隆二

## 災害を事前に体験しよう

### ●防災学習館に行ってみよう

「実際に災害に遭い、初めてその恐ろしさを実感した」被災者の体験談などでよく聞く言葉です。

岩国市防災学習館では、地震・土砂崩れなど災害の模擬体験ができます。

実際の被害に遭う前に災害の怖さを体験し、防災に対する知識や行動力を身に付けてみませんか？

岩国市防災学習館  
☎0020  
愛宕町一丁目4番1号(いわくに消防防災センター内)  
開館時間 9時～17時  
休館日 月曜(祝日の場合は翌日)  
利用料 無料



### 地震体験

大地震の揺れを体験。東日本大震災の震度7の揺れも体験できます

### 防災シアター

実際に土砂や津波が迫ってくるような、立体映像で災害を体験できます

